

第504回番組審議会報告

(レポート提出による書面開催)

〔開催日〕 令和4年2月25日(金)までにレポート提出し開催とした。

〔レポート提出出席委員〕

柳谷豊彦 委員長／相馬佳苗 副委員長／中川愛美 委員／堀内史子 委員
鈴木雅史 委員／水山和敬 委員／三浦真守 委員／齋藤義紀 委員

〔レポート課題番組〕

◇YTS スペシャル

「あなたのスタート応援します！やまがたモーレッツ応援団」

令和4年2月9日(水) 19:00～19:54 放送

担当：編成制作局 制作部ディレクター 高橋 淳

〔レポートによる意見交換〕

山形テレビの第504回番組審議会は2月25日を締め切り日として各委員から課題番組についてのレポートをメール等書面で提出してもらい、その後各委員、社側出席者にフィードバックし意見交換を行った。

課題番組は2月9日に放送したYTSスペシャル「あなたのスタート応援します！やまがたモーレッツ応援団」で、コロナ禍の中、夢に向かって頑張る人、この春から新たなステージに進む夫婦や生徒など4組を紹介。そのうち3組のもとに佐々木健介、北斗晶夫妻が訪れ、やさしく思いのこもった言葉をかけ、熱い応援で人々を後押しする我武者羅応援団がリモートで看護学生たちにエールを送った。

委員からは、

「元気いっぱい明るい感じの番組タイトル通りの番組。最後は、胸が熱くなった」

「リポーターの佐々木・北斗夫妻は、笑顔いっぱい明るく、ときに厳しく、指導者感も漂い、番組コンセプトと一致した起用になっていた」

「出演者と対話しながら明るく励ましていく佐々木夫妻に対し、我武者羅応援団は熱い言葉を繰り返しながらの全身エール。3話に出演した佐々木・北斗夫妻に続いて、最後の1話に我武者羅応援団が登場した際は、全体としてつながっているのかと感じた」

「タイトルに対して各演出の統一性が見られず、紹介動画のように感じた。ただ、コンセプトは良く、看護師を目指す学生への我武者羅応援団の応援はタイトル通りと感じて見入った」

「タイトルの『あなた』とは誰のことか。番組に登場した人たちだけを応援する番組ではないはず。登場者の姿を通して県民を元気づける。それが作り手側の狙いだろうと理解した」

「タレントのナレーション、北斗と健介夫婦のナビゲーション、プロモーション動画、応援団の登場など要素が多すぎてまとまりがなく、一つの要素に対する掘り下げが浅く感じた」

「既視感がある話題に新たな意匠を施した四つの夢応援プロジェクトの内容は番組制作のねらいに則して充実していた。コロナ禍の下で希望をどう育むか、という時代のテーマにコミットしている点を評価したい」

「地域バランスをもう少し考慮する必要があったのでは」といった意見がでました。

以上